

プラネタリウムワークショップの実施について

石坂あすみ*

Implementation of the planetarium workshop

Asumi Ishizaka*

2019年5月から2020年3月にかけて実施した小学生向けの連続講座「プラネタリウムワークショップ」について、内容を報告する。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響とその対応についても記録する。

1. はじめに

プラネタリウムワークショップは、天文・宇宙に関心のある小学生がプラネタリウムや天文について学びながら、オリジナルの番組を制作し発表することを目的とした全12回の連続講座である。様々な体験を通して星に親しんでもらうため、グループ学習や発表、望遠鏡を使った実際の星の観察などを盛り込んだワークショップ形式で実施している。

また、科学館が掲げる「見るプラネタリウムから使うプラネタリウム」の理念のもと、子どもたちに積極的に科学館の装置を活用してもらうことを目指す事業である。

2. 実施概要

- ①日 程： プログラム内容を参照
- ②時 間： 15:30~17:30(発表会当日と12月1日は15:30~18:00)
- ③対 象： 小学4年~6年生(連続講座のため12回とも参加可能な児童)
- ④参加者： 20名
- ⑤費 用： 無料

3. プログラム内容

2019年度は、表1に示したとおりワークショップを実施した。

4. 運営を振り返って

各回120分のうち、前半は学習室や実験室での講義、後半はプラネタリウムでの体験という形式で展開した。全体を通して、子どもたちが「88星座を覚えたい」「惑星について知りたい」「機械を操作したい」等、興味があるもの、やりたいことを自分で発見することや、プラネタリウムで星や宇宙について伝えることについて自分なりの考えを深めてもらえるよう心がけた。

講義では、プラネタリウムの意義や役割、天文に関する基礎知識などを段階的に解説した。シナリオ作成など個人で行う作業のほか、参加者同士でコミュニケーションが取れるようレクリエーションやグループワークも盛んに行った。活発な意見が飛び交い、シナリオをまとめるのに苦労する場面もあったが、最終的には一人ひとりが自分の役割を認識し、協調性を高めながら目標に向かう姿勢が見られた。

5. 新型コロナウイルス感染症拡大に関わる対応



図1. 広報用チラシ.

*川崎市青少年科学館 (かわさき宙と緑の科学館)
Kawasaki Municipal Science Museum

表 1. 2019 年度の実施スケジュール.

回数	実施日	テーマ (タイトル)	主な内容
第 1 回	5 月 26 日	オリエンテーション	・自己紹介 ・レクリエーション
第 2 回	6 月 30 日	プラネタリウムってなんだろう?	・プラネタリウムという場所、役割について知る ・プラネタリウム見学 (今夜の空)
第 3 回	7 月 28 日	プラネタリウムを動かす前に	・プラネタリウムの仕組みや天文の基礎知識を学ぶ
第 4 回	8 月 25 日	プラネタリウムを動かしてみよう	・プラネタリウムの操作体験
第 5 回	9 月 29 日	どんなお話をするか考えよう	・興味のある天体や星座、解説の内容を検討する ・話し合いで担当を決める
第 6 回	10 月 27 日	どんなお話をするか考えよう②	・番組全体の流れを考える ・解説を担当する内容について資料を使って調べる
第 7 回	12 月 1 日	シナリオを作ろう &本物の星を観察してみよう	・前回調べたことを発表する ・シナリオを書く ・アストロテラスで星の観察
第 8 回	12 月 22 日	番組をつくろう	・番組のタイトルを決める ・シナリオの読み合わせ、修正
第 9 回	1 月 26 日	練習だ!	・操作、解説の練習
第 10 回	2 月 9 日	もっと練習だ!	・操作、解説の練習 ・シナリオの最終調整
第 11 回	2 月 23 日	リハーサル	・本番を想定したリハーサル
第 12 回	3 月 8 日	発表会	中止

科学館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、プラネタリウムの定員減員や投影休止、各種講座の中止等の対策を講じた。プラネタリウムワークショップでは、3 月 8 日の発表会を以下の過程で中止とした。参加者へは都度、電話と文書にて通知をした。

(1) 時系列

2020 年 2 月下旬 観覧対象を保護者と関係者のみに制限し、予定通り 3 月 8 日に実施することを決定

(2 月 5 日 3 月 15 日までプラネタリウム投影休止を決定)

3 月 5 日 発表会を 5 月 31 日に延期することを決定

(4 月 7 日 緊急事態宣言発出)

5 月 3 日 発表会の中止を決定

(2) 参加者への対応と反応

記念品として、修了証書と科学館のオリジナルクリアファイルを自宅に郵送した。参加者と保護者からは理解を得つつ、残念という声も多く、「楽しかった」「また参加したい」という主旨の手紙を送ってくれる参加者もいた。

6. 2020 年の実施について

2020 年 5 月 14 日に緊急事態宣言が解除されたが、感染防止策の継続が必要とされる状況を考慮し、開始時期を例年の 5 月から 10 月に変更した。また、全 12 回の講座を半数の 6 回に設定し、教室内の三密を避けるため、20 名から 10 名に変更した。講座中は、十分な換気を行える部屋で、参加者同士が密接することのないよう注意を払いながら実施している。